

## 東日本大震災について

三月一日、東日本大地震により、東北地方を中心に甚大な被害が発生しました。今回、新東ファミリーでもこのことを記事にすべきか迷いましたが、会員様である皆様にも少しでも役に立ちたいと思いましたが、掲載いたします。

また、「この震災により亡くなられた方々へ、心よりお悔みを申し上げますと共に、被災された方々が一日でも早く、元気を取り戻せるようお祈りいたします。

みんなで  
がんばろう  
日本

### 私たちにできること

三月一日に大地震が発生して一週間後、新東会広報宛てに一通のメールが届きました。送り主は加藤大吾さんという、山梨県にてアウトドア講師をされている方からです。内容を読んでみると、現在、宮城県でボランティア活動をされており、緊急を要するものでした。「とにかく物資が不足しています。こちらで手配できるようなものはお願いできません。関東では買いために品物が不足していると聞きました。西日本側に知り合いがいるようでしたら、何とか手配できないでしょうか。また、このメールをなるべく多くの方へ転送をお願いします。」※一部省略というメールでした。そのとき必要とされた救援物資は次の通りです。

- 地震発生後、一週間で必要とされた救援物資**
- 1 防寒服 (大人・子供中古品可)
  - 2 衣類・下着類 (新品のみ)
  - 3 オムツ (新品のみ)
  - 4 タオル、軍手等 (新品のみ)
  - 5 お米
  - 6 シトルト食品、缶詰 (なるべくそのまま食べられるもの、もしくはお湯で食べられるもの)
  - 7 サランラップ
  - 8 テント、寝袋 (中古品可)
  - 9 ラジオ、懐中電灯、電池
- 地震発生後、一週間で必要とされた救援物資**
- 1 保存食 (カロリーメイト、缶詰、ドライフルーツ、ナッツなど)
  - 2 消毒用アルコール
  - 3 市販の医薬品 (ガゼ等も含む)

※お米や防寒服は足りています。しかし、手軽に食べられる食料が不足しています。何卒、ご協力をお願いします。

このような内容で、被災地では、日々必要とされる物資が変わるようになってきました。第二便、第三便として分けて郵送されました。そして、現在も活動は続いています。

☆名もなき救援隊☆  
東北関東大震災に対して、加藤大吾をはじめ、有志の仲間が集ったボランティア集団です。現在の活動の様子はブログでもご覧いただけます。  
「名もなき救援隊」で検索下さい。



### これだけは覚えておきたい、大地震発生時の初動避難方法

TVやラジオでも大地震発生時の避難方法が紹介されていますが、中には間違った避難方法があります。その代表的なものとして、地震が発生したら「机の下に隠れる」という方法です。防災システム研究所長の山村武彦氏によると、大地震が起きた時、机の下に隠れると、とても危険だと警告しています。阪神・淡路の震災の時、実際に多くの方が亡くなりました。

山村氏いわく、大地震のときは、

迷わず安全な場所へ避難することが大切です。では、どのように避難すればよいかというと、自宅、お店、屋外、場所を問わず、まず回りに何も無い場所に移動すること。そして次に、大きな声で「火事だ!」と叫びながら平坦な外へ逃げるのが重要だそうです。何故かという、地震の発生するとき、人はその場でジッと身構えてしまうそうです。そこで「火事だ!」と叫ぶと、人は慌てて外へ出るそうです。これは自分自身が安全に避難すると同時に、周辺の人たちへのアナウンスにもなるそうです。

新東会広報では、山村氏の防災セミナーに過去三回参加しました。その時見た映像や写真などを見て正しい避難方法だと感じました。今回は大地震発生時の初動のみをご紹介しますでしたが、今後も引き続きご紹介したいと思います。

### お知らせ情報

- ☆新規新装オープンのお知らせ  
●新宮川 東急フーズフードショウ店  
三月十九日 (土) 新規オープン  
●宮川 駒沢店  
四月五日 (火) 新装オープン
  - ☆結婚のお知らせ  
●森山 友寛さん・明子さん  
三月二十日 (日) 結婚されました。
  - ☆計報のお知らせ  
●うな秋 社長の父上  
四月二日 (日) 山本 巖様  
●花かべり 社長の母上  
四月六日 (水) 中根 ツネ様  
おしくなられた方々のご冥福を謹んでお祈りいたします。
  - ☆誰タレよりも君を愛すー放送終了  
新東会にて技術協力しましたTVドラマ、四月十七日 (日) 放送されました。  
出演 高橋克実/長澤まさみ
  - ☆駒場学園高校 食料科 講習会のお知らせ  
●五月二日 (木) 九時~  
●六月四日 (火) 九時~  
●六月十六日 (木) 九時~ / 二時~
  - ☆新東調理師専門学校 講習会のお知らせ  
●五月二日 (木) 九時~  
●六月四日 (火) 九時~  
●六月十六日 (木) 九時~ / 二時~
- サポートしていただく職人さんを募集しています。また、オーナー様も是非「見学」にお越しください。



# 新東会 江戸前ニュース

新東調理士会が取り組んでいる、江戸前蒲焼のPR活動や取り組みを様々な切り口でご紹介します。



## 大地震の歴史を振り返って

今回の東日本大地震において、震災直後のニュースでは、死者・行方不明者はそれほど多くはありませんでした。そのニュースを見ながら、阪神・淡路の震災以降、住宅や公共施設などの建築基準が厳しくなり、さらに、災害に対する防災技術が高くなり、その効果もあって被害が抑えられたのだろうか、と感じていました。しかし、日を経つにつれ、その被害が膨れ上がっていき、想像を超えた被害の現状をTVの映像で見るときには、声も出なくなりました。

ニュースでは、専門家の人たちが「想定外の地震と津波の大きさを」というようなことをコメントしていました。日本は地震が多い国として、これまで様々な防災対策が取られてきました。また、歴史を見ても数々の大地震を経験しています。では、どれだけ技術が発達しても防災対策をしても大地震から逃れることはできないのでしょうか。そこで、その昔、今より技術が低く、防災対策レベルが低かった過去の大地震の歴史を振り返って、そのときの地震の規模や周期について調べてみましたので、紹介いたします。

### 一七〇〇年以前の大地震

- 二一〇〇年頃 ■東海・東南海・南海 連動大地震(推定) ←(約一六〇年後)
- 二二〇〇年 ■東南海・(一年後に) 南海連動大地震 M7.5~8.0 ←(約一四〇年)
- 一四九八年 ■東海・東南海・(南海)連動「明応地震」M8.2~8.4

- ←(約一〇〇年後)
- 一六〇五年 ■東海・東南海・南海 連動「慶長地震」 M7.9~8.0 ←(約一〇〇年後)

### 一七〇〇年代初頭の地震

- 一七〇三年 ■関東大地震「元禄関東地震」元禄大地震 M8.2 大正関東大震災と同じ海溝型地震とされる。

- ←
- 一七〇七年 ■東海・東南海・南海 連動「宝永地震」 M8.6 関東南西部・東海地方へ四国にかけてほぼ同時に大地震発生。 ←(四九日後)

- 一七〇七年 ▲富士山噴火「宝永大噴火」(歴史上最後の富士山噴火、小型の爆裂火口などの兆候は一七〇〇年頃から確認。 (参考:富士山の噴火史))

### 一八〇〇年代半ば幕末の地震

- 一八五四年 ■東海・東南海・南海 連動「安政地震」 M8.4 三三時間後、南海地震発生。 死者五千人、余震が九年間続く。

- 一八五五年 ○関東南部直下型地震「安政の大地震」 M6.9 死者四千人以上。 関東のメソクラスの直下型地震は七〇年~八〇年周期説がある。(参考)一八九四年「明治東京地震」 M7.0 (直下型地震) 死者三一人

その他、文献の記述によると「メソクラスの南関東直下地震は二〇三六年まで、七〇%の確率で発生すると想定。東海大地震は一五〇年以上発生しておらず二〇年以内の発生確率は八六%。大正関東大震災に代表されるメソクラスの海溝型地震は現在、二〇〇年周期説が一般的(関東大地震の周期図はこちらより) これら大地震を経験しながらも、復興してきた日本にとって、今回の震災も互いに助け合い、乗り越えられるものと信じます。



### 新ファミプチ広告

新宿調理師専門学校、取材協力のもと専門学校教育・教育理念をまとめた『職人のレシピ』がダイヤモンド社から発刊されました。講習会でお世話になっている角田先生も掲載されています。書店にて発売されていますのでご覧下さい。



新刊: 2011年4月7日  
発行: ダイヤモンド・ビジネス企画  
発売: ダイヤモンド社  
取材協力: 新宿調理師専門学校  
定価(本体1,500円+税)

### 職人たちの「緩ってリレー」

私は現在、代々木にあります「澤田家」にて働いております。お店は注文を受けてから緩を蒸すので少々お時間をいただきますが、その分、味には絶対的な自信があります。皆さん是非、お店にお越しください。

ここからはプライベートなお話ですが、私は新東会随一の「ゴルフ好き」「ゴルフ歴二年」と自負しております。内原CCのメンバーコースでオフィシャルハンデです。いつでも皆さんの挑戦を受け付けておりますので、気軽に声をかけてください。



廣瀬 昇さん  
「澤田家」職人  
東京都渋谷区代々木  
1-45-6  
TEL:03-3374-7955

廣瀬さん紹介、次回のゲストは「千寿」の「田中 重夫」さんです。

会報誌【新東ファミリー】は業界発展のため精力的に取材活動を行います。ご意見、ご要望などございましたら、編集部にご連絡ください。

2011年土用丑の日は7月21日(木) 8月2日(火) TEL.03-3582-4721 info@chourishi.co.jp